

資料 2 - 3

【令和 3 年 1 2 月 1 7 日時点】

分科会 3

「交通環境・道路整備」を単位としました。

NEW

【まちづくりの方向性①】

人と環境にやさしい安全・便利な交通・道路環境の整備 《ハード面の取組》

＜基本的取組＞

- 1-1 歩行者や自転車が安全に移動できるよう、歩道の拡幅やバリアフリー化、専用道路や街灯などの整備、無電柱化を促進する。
- 1-2 脱炭素の取組を進めるため、低環境負荷の自動車の利用促進やカーフリーの取組などを通じて、環境にやさしい交通環境の整備に取り組む。
- 1-3 誰もが快適に移動できるよう、公共交通の充実を図るとともに、車や自転車などの多様な移動手段とのネットワークを形成する。交通環境整備と併せた道路網の整備を計画的に推進する。

【まちづくりの方向性②】

調布らしい歩きたくなる道づくり 《ソフト面の取組》

＜基本的取組＞

- 2-1 誰もがウキウキとまちを歩けるようにするため、調布らしい自然と調和した道づくりを進める。
- 2-2 市内観光名所を周遊を促し、にぎわいを創出するため、シェアサイクルなどの取組を進めるとともに、歩行者天国の活用や自転車利用のマナーアップを通じてなど、歩行者が歩きやすいまちづくりを進める。

NEW

【まちづくりの方向性①】

今ある水と緑あふれる景観を守り育てる 《環境面での景観》

＜基本的取組＞

- 1-1 緑あふれる景観を残していくため、緑地を保全し、自然と共生したうるおいのあるまちづくりに取り組む。
- 1-2 農のある風景を継承していくため、農地の保全や農業支援に取り組む。

【まちづくりの方向性②】

良好な街並みや景観の維持・形成 《街並みの面での景観》

＜基本的取組＞

- 2-1 歴史・文化芸術・スポーツなどの地域資源等を生かした調布のまちを代表するような景観を形成するため、景観条例を踏まえた計画的なまちづくりを進める。
- 2-2 良好な景観を形成するため、無電柱化や共同溝の設置を促進し、道路の整備・保全を進める。

NEW

【まちづくりの方向性①】

活気と魅力ある調布駅前広場の整備

＜基本的取組＞

1-1 調布市の顔として、賑わいとうるおいにあふれ、親しみのある調布駅前広場とするために、広いスペースを利活用したイベントの実施やエリアマネジメント手法（市民参加）を取り入れた活用方法（ルール）を検討する。

1-2 調布を象徴となるような施設の整備。

【まちづくりの方向性②】

安全・安心の市街地整備

＜基本的取組＞

2-1 気候変動による自然災害の脅威にも対応できるようにするため、災害に強いまちづくりを進める。

2-2 安全・安心なまちづくりを進めるため、車歩分離や公共サイン・災害時の案内・観光などの整備などを進める。

【まちづくりの方向性③】

駅（エリア）ごとの特色・魅力を活かしたまちづくり

＜基本的取組＞

3 調布のまちの魅力を高めるため、各地区の特性や自然や文化的資源などを生かしたまちづくりを進める。

NEW

【まちづくりの方向性①】

だれもが安心して暮らすことができる住環境の整備

＜基本的取組＞

- 1-1 空き家の廃墟化や老朽化を防止するため、市民農園や公共施設などでの活用方法を検討する。
- 1-2 高齢者や**貧困家庭**が取り残されず、自立した生活を支援するため、**セーフティネットとしての公営住宅や集合住宅の整備・サービスを拡大する。**

【まちづくりの方向性②】

環境に配慮した良好な街並みの形成

＜基本的取組＞

- 2 緑地を残しつつ、かつ景観を損なわない建物を、再資源化できるような環境に配慮した資材で建築することを推進する。

NEW

【まちづくりの方向性①】

活気がある地域の居場所づくり

＜基本的取組＞

- 1 だれもが使いやすく、地域コミュニティが活性化し、絆が醸成する拠点となるよう、ソフト面における機能の充実・仕掛けの工夫を図る。

【まちづくりの方向性②】

公共施設マネジメントの推進

＜基本的取組＞

- 2 今後発生が予想される大規模災害に備えるため、公共施設の耐震化、老朽化対策を計画的に進める。

【まちづくりの方向性③】

モデルとなる公共施設の整備

＜基本的取組＞

- 3 今後の社会ニーズに対応し、災害への備えや脱炭素化を進めるため、施設の耐震化・老朽化対策を進めるとともに、再生可能エネルギーの活用をはじめとするゼロエミッションや、フェーズフリーの考え方を取り入れた各種施策のモデルとなるような公共施設・学校施設の整備に取り組む。

NEW

【まちづくりの方向性①】

身近な公園の整備・憩いの場づくり

＜基本的取組＞

- 1-1 安全かつ楽しく遊ぶことができる公園にするため、地域住民参加による管理手法を取り入れた公園づくりに取り組む。
- 1-2 子どもから高齢者まで、だれもが使いやすい公園の在り方、デザインを検討する。
- 1-3 市民が足を留め、憩う公園となるよう、花いっぱい運動などを推進する。

「ゼロカーボン・脱炭素・環境保全」を単位としました。

NEW

【まちづくりの方向性①】

トッランナーとしてゼロカーボンの実現に向けた取組を推進

＜基本的取組＞

- 1 市がリーダーシップを発揮し、ゼロカーボンシティ宣言に基づく取組を具現化し、産学官民一体となって環境保全に関する施策及び脱炭素の取組を推進する。

【まちづくりの方向性②】

ごみの排出量の抑制

＜基本的取組＞

- 2 国際的な課題でもある温暖化やプラスチックごみ問題に向け、CHOFUプラスチック・スマートアクションに基づいた取組をはじめとするごみの排出量抑制や資源化と併せて、環境学習を推進する。

【まちづくりの方向性③】

地域資源を活用したまちづくり

＜基本的取組＞

- 3 市内で完結できるような資源の循環を目指すため、地産地消の魅力を幅広く周知・実践する。

水・緑・農地

「水・緑・農地」を単位としました。

NEW

【まちづくりの方向性①】

豊かな**自然と共生**したまちづくり

＜基本的取組＞

1-1 市の豊富な自然と景観を今後も守っていくため、既存の緑地や農地等の自然を保全するとともに、バランスのとれた緑地開発と適切な農業支援を推進する。

1-2 **都有地や国有地を活用した緑の創出**

【まちづくりの方向性②】

農地の**確保・活用**に向けたまちづくり

＜基本的取組＞

2-1 農地を守り、地産地消を推進するため、市内の農家・市民が作物を栽培し続けられるシステムを構築する。

2-2 都市農地の保全のため、農業ボランティアの活用や新規農業者従事者の育成など農業への支援体制を**充実させる**。

2-3 **NPO法人や市民団体などと連携し、自然を学ぶ場、土と触れ合う場として、学童農園、農業公園などの整備を推進する。**

NEW

【まちづくりの方向性①】

ごみの減量化，資源化による環境にやさしいまちづくり

＜基本的取組＞

- 1-1 ごみの減量とリサイクルの更なる促進のため，多様な主体と連携した取組による，環境意識の向上を推進する。
- 1-2 環境にやさしいまちの実現のため，ごみの排出量の削減と併せて，コンポストなどのごみの資源化の取組を促進し，循環型社会の仕組みを構築する。
- 1-3 良好な生活環境を保持するため，分煙対策やごみのポイ捨てを防止し，調布市の街並みの美化に取り組む。

NEW

【まちづくりの方向性①】

自助・共助・公助による災害に強いまちづくりの実現

＜基本的取組＞

- 1-1 災害発生時に、迅速な避難誘導ができるように、新たなデジタル技術の活用を含めた情報発信・共有を促進する。併せて、市民が各種必要な情報を入手できる環境整備を進める。
- 1-2 多摩川や野川の氾濫を防ぎ、頻発化・激甚化する風水害に強いまちづくりのため、近隣自治体とも連携し、ハード・ソフト両面からの対策を推進する。
- 1-3 人口・住宅密集地の災害発生を防ぐため、農地の保全や緑地などの緑の空間を残すようにする。
- 1-4 大規模災害の発生時においても行政の機能を維持し、安定した市民サービスを提供するため、データのバックアップなどのリスクマネジメントの取組を促進する。
- 1-5 災害時に、市民も担い手となれるよう、フェーズフリーの考えを取り入れ、防災訓練のみならず、イベント等と併せた訓練を実施し、防災意識の向上を図る。

NEW

【まちづくりの方向性①】

市民が有益な情報をいつでも得られる仕組みづくり

＜基本的取組＞

- 1-1 環境問題を市民に身近に感じてもらうため、デジタル技術を活用し、情報の「見える化」「共有」を推進する。
- 1-2 行政に対して市民が興味・問題意識・当事者意識を持ってもらうために、デジタル広告等を活用し、情報の「見える化」を推進する。
- 1-3 より便利で豊かな市民生活を構築するため、デジタル技術の活用にあたっては、アナログとデジタルの融合を図るとともに、高齢者等のデジタルデバイド対策を推進する。
- 1-4 各種データにつながるプラットフォームの整備、5GやAIをはじめ、デジタル技術を活用した双方向性の市民参加の仕組みづくりを進める。